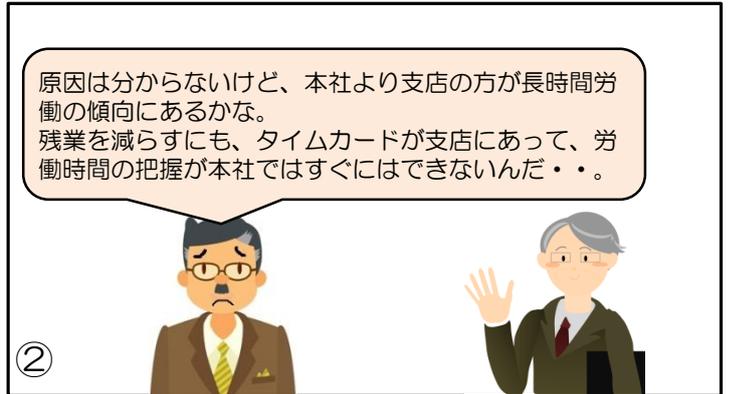


# 労働時間を「見える化」しよう

～労働時間(残業)を短くする工夫～



## 取組事例紹介

業種：製造業 支店数：5支店 従業員数：40名

超過勤務の縮減を行う一環として、全労働者の出退勤状況の把握、残業時間の見える化を図ることが必要と考え、労働時間の可視化に取り組んだ。

＜クラウド型タイムカードの導入＞  
ICカード型のタイムカードを導入し、全支店の労働者の出退勤時間、残業時間をクラウドにより、本部のパソコンで瞬時に把握できるようにした。

労務管理用ソフトウェア等導入に助成あり！

【例：労務管理用ソフトウェア等の導入助成】

○働き方改革推進支援助成金

（労働時間短縮・年休促進支援コース）

助成率 75%

（一定要件の場合、80%）

かつ

上限額 最大200万円

（一定要件の場合、最大440万円）

◆助成金等には成果目標の達成状況等、一定の要件があります

◆申請締切令和3年11月30日（国の予算の制約のため、これ以前に受付を締め切る場合があります）

- ・月の途中でも、各人の残業時間を把握することで、月の見込み残業時間を推定することができるようになり、長時間労働となりそうな労働者のフォローを行うことで労働時間が削減された。
- ・本部で労働時間が分かることで、残業手当の計算が効率的に行えるようになった。
- ・残業時間が短縮されたことで、36協定の上限を見直した。

御社の働き方改革を「働き方改革推進支援センター」は応援します！

詳しくは当センター特設サイトへアクセス ▶

愛知働き方改革推進支援センター

検索



QRコードでもアクセス可能です！

愛知働き方改革推進支援センター【令和3年度 厚生労働省・愛知労働局委託事業】

相談窓口：名古屋市千種区千種通7-25-1 サンライズ千種3階（タスクール内）

☎ 0120-006-802

※受付日時：月～金曜日（祝日等を除く）午前9時～午後5時

✉ aichi@task-work.com